

Beyond Comfort

# MOVEMENT

vol. 16

第69期 中間株主通信

平成26年4月1日 ▶ 平成26年9月30日



**T-Tech**  
テイ・エステック株式会社

証券コード 7313



2020 Vision

# INNOVATIVE QUALITY COMPANY

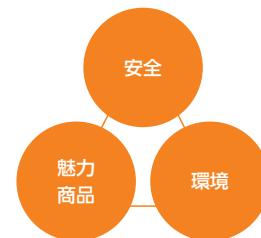
2030年には世界の巨大内装メーカーと、  
互角に戦うレベルになるという目標の下、  
2011年～2020年の10年間でそのための基礎づくりと位置付ける  
2020年ビジョンを制定しています。



## 技術力

### 安全・環境・魅力商品技術の追求

内装品に要求される安全機能、軽量化、乗り心地などの研究に積極的に取り組み、最新技術をお届けしています。

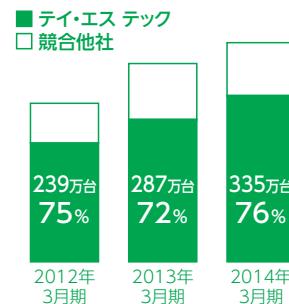


## 成長戦略

### Hondaのグローバル成長のパートナー、積極的な拡販戦略

Hondaのグローバル成長のパートナーとして進化するとともに、積極的な拡販戦略を通してさらなる成長を目指します。

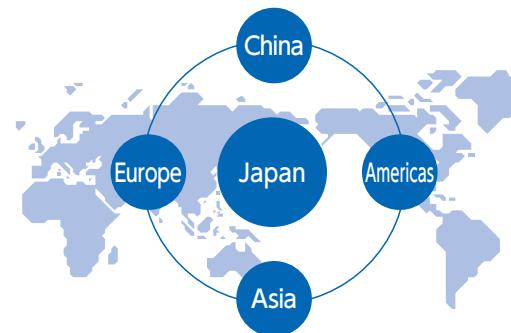
Honda四輪車生産台数シェア（当社調べ）



## 海外展開

### グローバル企業としての進化

「グローバル・スピード・チャレンジ」を行動要件として、部品競争力TOPを目指します。





## 米州地域のさらなる強化と他販拡大に向けた取り組みを着実に推進

代表取締役社長  
井上 満夫

### 「第69期中間株主通信 MOVEMENT」をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当上半期（2014年4月1日～9月30日）は、アジア・欧州セグメントにおける受注台数の減少はありましたが、機種構成の改善や円安による為替換算上の効果、また、経費抑制を積極的に行ったことで、計画に対して堅調に推移しました。

### 営業利益率は8%台を堅持の見通し

今期の業績見通しは、売上高4,330億円、営業利益350億円と、期初計画に対して売上高で50億円の減収、営業利益で25億円の減益を見込んでおりますが、各種事業施策は計画通り進めてまいります。

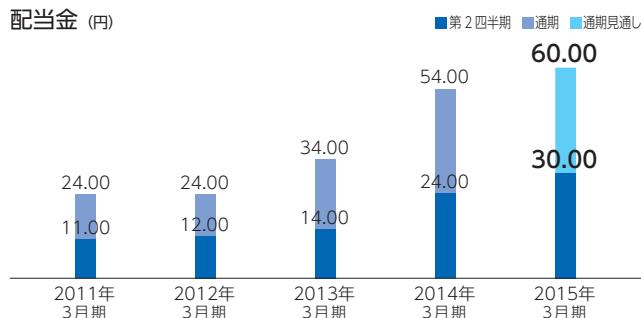
また、主要客先からの受注台数減少が大きく影響してまいりますが、さらなる原価低減・経費抑制に取り組む、営業利益率は8%台を堅持する見通しです。

将来を見据えた施策としましては、米州での事業拡大に向けた「営業・開発体制の強化」や、中米（メキシコ）での部品供給拠点稼働による「部品競争力の強化」をはじめ、米州各地域で「他販の拡大」に向けた取り組みを着実に進めており、当グループのさらなる飛躍を目指しております。

### 年間配当は、計画通り 前期に対して6円増配の60円を予定

第2四半期決算時に業績の下方修正を発表させて頂きましたが、2015年3月期の1株当たり年間配当は期初から変更せず、中間配当30円と期末配当30円（予想）の年間60円を予定しており、昨年実施の年間配当を6円上回る増配となっております。

当グループはこれからも、安定的な株主還元を努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2014

4月

## インドに新会社設立

2014年6月、インドでの二輪事業拡充を目的に、グジャラート州に新会社を設立しました。なお、2015年9月の稼働開始を予定している二輪車用シート新工場の生産能力は年間120万台規模です。これにより、既存工場の生産分、年間280万台と合わせて、当グループのインドにおける二輪車用シートの生産能力は年間400万台規模となります。



◀新工場建屋完成予定図

5月

## ブラジルに新会社設立

2014年6月、ブラジルの既存会社からトリムカバー製造を分社化し新会社を設立しました。なお、新縫製工場の稼働開始は2015年1月を予定しています。トリムカバー製造の分社化により、コスト競争力のさらなる向上を図るとともに、今後の市場拡大が期待されるブラジルで主要客先以外への営業活動にも積極的に取組んでいきます。



新工場建屋完成予定図

6月

## ドイツ自動車関連企業の展示会に初出展

2014年10月、VW社とドイツのウォルズブルグ市が主催する国際的な自動車関連企業の展示会「IZB※2014」に初出展し、さらなる他販拡大に向けて積極的なセールスプロモーションを展開しました。※IZB: Internationale Zulieferer Börse



◀会場の様子

7月

## メキシコ新工場稼働開始

2014年10月、TST MANUFACTURING DE MEXICOの新工場が稼働開始しました。米州の四輪車用シート・ドア部品の製造をこの新工場に集約し米州部品供給拠点とすることで、部品競争力を一層強化していきます。



新工場外観

8月

## ハンガリー工場稼働開始に向け順調に進捗

VW社向け四輪車用シート生産を目的とするハンガリー工場は建屋・オフィスが完成し、この10月末からは製造設備の設置を開始しました。2015年5月のVW社次期SUV向け3rdシートの円滑な生産開始に向け、準備を着実に進めています。



新工場外観

9月

## 米州本社建屋の拡張

北米では米州本社建屋を、従来比約2倍に拡張しています。建屋の拡張と要員の増強をあわせて行うことで、米州地域における事業拡大に向けた、営業・開発体制の強化を図ります。



点線部分が拡張箇所

10月

Q N-WGNのシートの特長について教えてください

A クラスを超えたクオリティと  
ユーザーの声を反映した使いやすさ

まず、最近の軽自動車はファーストカーとして購入される方が増えていますので、N-WGNでは前席はもちろん後席の座り心地や、外観等、クラスを超えたクオリティで造り込んでいます。特にデザイン性を高めるための当社独自の生産技術は、効率の良い生産ラインを構築してコストを抑えながら、さらなる品質の向上を実現しています。

そして、前後席のコミュニケーション（近付きたい）や車室内の拡張性（広げたい）から、「後席にもスライド

機能をつけてほしい」というユーザーの声が非常に多かったため、後席スライド機能を企画当初より設定しました。スライド機能を設ける場合、他社は3箇所支持ですが、当社では独自の工夫を凝らし、2箇所支持で強度を確保しています。これにより、部品数を減らして燃費向上への軽量化を図るとともに、足下に傘等を収納できるトレイを設置するなど、より使いやすい製品になっています。

また、特別仕様車の前席には空調暖房より省電力な座面ヒーターを設定することで快適性を向上し、「アイドリングストップで空調が止まり、暖房の効きが弱い」という声に応えるとともに、低燃費にも一役買っていると思います。



LPL 田中 睦実

CLOSE UP



Honda N-WGN

Q セールスポイントは何でしょうか？

A 軽自動車で初、新・安全性能総合評価  
「5つ星」に貢献する技術

テレビCMなどでご存知の方もいらっしゃると思います。N-WGNは軽自動車ですべて、新・安全性能総合評価（JNCAP）で最高ランクの「5つ星」を獲得しました。

当社が手がけたシート(座席)は、ウレタンクッションや表皮などの開発に独自の工夫やノウハウを活かし、乗っている人が受ける頸部への衝撃に対する傷害値をより軽減することで、最高の安全性能評価獲得に貢献しています。

# 合成漆

自動車内装に適合できる“合成漆(ごうせいうるし)”についてご紹介します

当社の技術 **TS**  
Technology

## なぜ、漆に着目したのか？

自動車内装品の新しい加飾\*を模索するなか、欧州自動車メーカーが自国の文化をうまく取り入れて欧州車独特のテイストをかもし出していることに気がつきました。そこで、もっと日本文化を取り入れた製品ができないか？と思い、日本各地の伝統工芸を調査し出会ったのが「漆」でした。中でも飛騨高山の“春慶塗”を見た際、この美しさは世界でも通用すると考えました。

\*加飾：物の表面にさまざまな工芸技法を用いて装飾を加えること



春慶塗が施された茶筒

## 漆の良さとは？



カーボン繊維の上に塗装した当社独自の合成漆

漆といえば、朱色や黒で代表される色合いを想像しますが、実は漆そのものはやや黄味があった透明色で、屈折率が高く深みのある奥行き感が表現できる塗料です。さらに、他の塗料と比べ表面張力が大きくゴム質を含む性質から、ふっくらとした見栄えや手に触れたときのしっとり感といった特長を持っています。また、当社で開発した合成漆をカーボンに塗った場合、そのカーボン繊維の1本1本を美しく際立たせ、深みを帯びながら光沢感を演出するなどの効果もあります。自動車の内装部品としては、今までにない上質な空間演出が期待されます。

## 漆が自動車内装部品に活用されることはあまり聞かれない技術的に何がたいへんなのか？

漆は、輪島塗などに代表されるようにとても高価です。また、漆を硬化させるには、湿し風呂(しめしぶろ)といわれる湿度の高い室(むろ)に何日か入れておかなければなりません。高価で手間もかかる漆は、自動車部品のような大量生産には向かないとされていました。

そこで当社は、紫外線に反応して硬化する合成漆に着目しました。すでに食卓に並ぶお椀等では他で商品化されていたのですが、自動車の内装部品として適合させるためには、炎天下や極寒の環境下での耐久性と、職人の腕に頼らず均一な品質を安価に造り上げる加工方法の確立が必要でした。様々な環境下で伸び縮みする樹脂部品に、同じく樹脂である漆を塗った場合、収縮や膨張の比率が違うことで漆の塗膜が割れたり剥がれたりするなど、開発は難航しましたが、今日では諸課題を克服し開発は完了しています。



東京モーターショー2013に出展した  
ドアライニング  
(矢印箇所合成漆加飾を使用)



「座る」が人生を変える。

# 座フォーラム

「座る」を極める 2014

こころ・うごく・すわる・みらい

## 第3回 座フォーラム2014開催

2014年11月22日（土）虎ノ門ヒルズ メインホールにて、テイ・エス テックが主催する『座フォーラム』を開催しました。

第3回を迎える今回、「こころ・うごく・すわる・みらい」に関連する専門家の方々をスペシャルゲストとしてお招きし、「座」で提供する感動や未来についてのパネルディスカッションを展開。

また、前回も好評だった「座る」を哲学し科学する研究会『座ラボ』による未来への提案も披露しました。

SPECIAL  
GUEST



**松任谷正隆**

音楽プロデューサー  
モータージャーナリスト



**澤口俊之**

脳科学者



**根津孝太**

クリエイティブ  
コミュニケーター



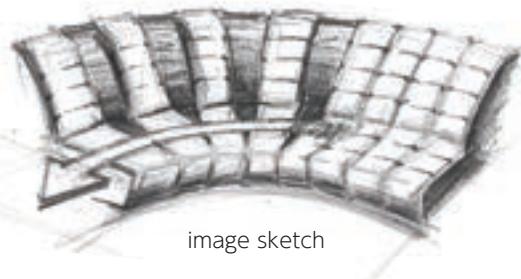
**中村格子**

医学博士  
横浜市立大学客員教授

# 座ラボ 「座る」を哲学し科学する研究会 『こころ・うごく・すわる・みらい』の提案

## Team Green Salad

自動車業界で一番熱い話題である「自動運転」に対して、乗員の自由度が増すという期待に応え、きっと「座る」を変えられるとの想いより、自動運転のクルマでしか提供できないコミュニケーションをコアコンセプトに、新しい「座の様式」を提案。最もコミュニケーションをとりやすい、同乗者の関係性による距離や向きを調査研究し、自動運転にふさわしい「座の様式」の一例を紹介。



## Team NEOVE

「座る」とは何か？ 普段あまり気を留めることのない行為に真摯に向きあい深く哲学した結果、たどり着いたのは「いす」が本来もっていた「よりかかる・たよりにする」という意味に原点回帰すること。自動車用シートに縛られずに、そして単なる座るにとどまらずもっと広義に捉え、人のあらゆる状態でも体を預けられる、まったく新しい【座(いす)】提案を紹介。

## Team FUMBITIOUS!

私たちの会社が軸にしている自動車用シートで「純粋に感動を提供したい」と考え、感動とは何か？を調査。そこで着目したものは「なんか好き」という感情を引き出すため脳科学からシートづくりをアプローチすること。人が脳でモノを認識する視覚の領域を脳波測定を用い、人の興味関心度を検証しながら、未来に向けた常に感動を提供できるシートの一例を紹介。



来年1月に座フォーラム収録DVDを発行予定

▶▶▶ ご希望の方は当社HP>座ラボサイトでご応募ください。

※応募多数の場合は、抽選とさせていただきますのでご了承ください。

## 営業利益率は8%台堅持の見通し

円安による為替換算影響や、さらなる原価低減・経費抑制を織り込んではいるものの、主要客先からの受注台数減少が大きく影響し、過去最高益となった2014年3月期と比べて減収減益の見通しです。しかし、各種事業施策は計画通り進めた上で、営業利益率は8%台を堅持する見通しです。

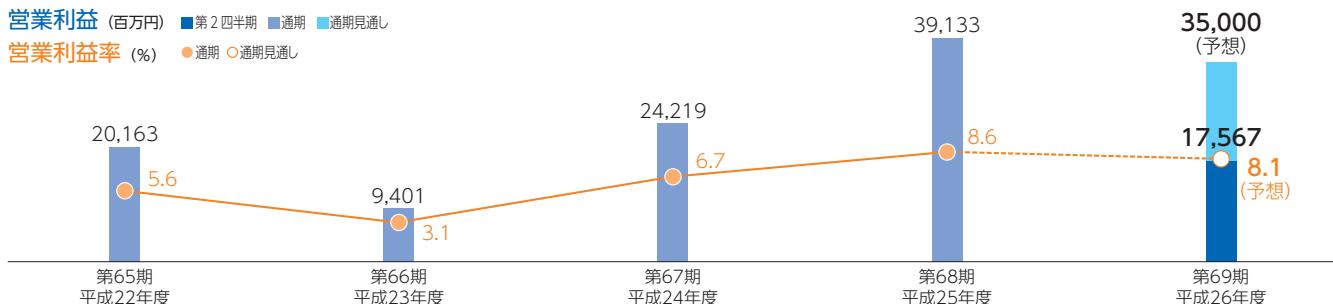
### 財務ハイライト

売上高 (百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期見通し



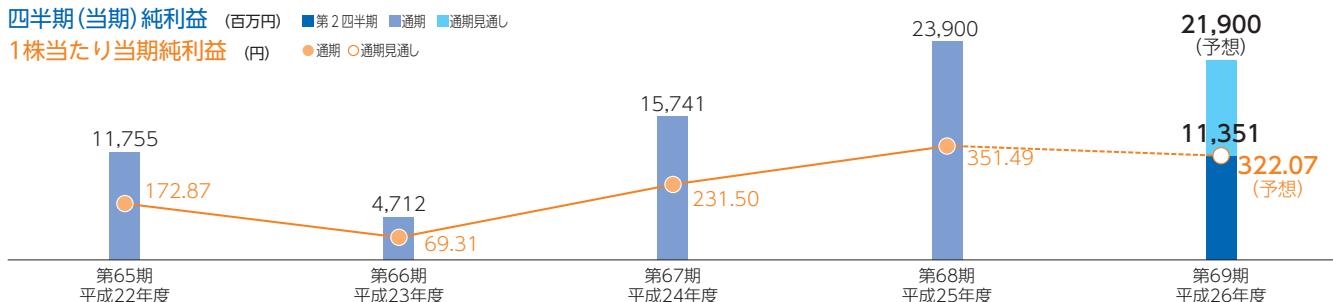
営業利益 (百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期見通し

営業利益率 (%) ● 通期 ○ 通期見通し

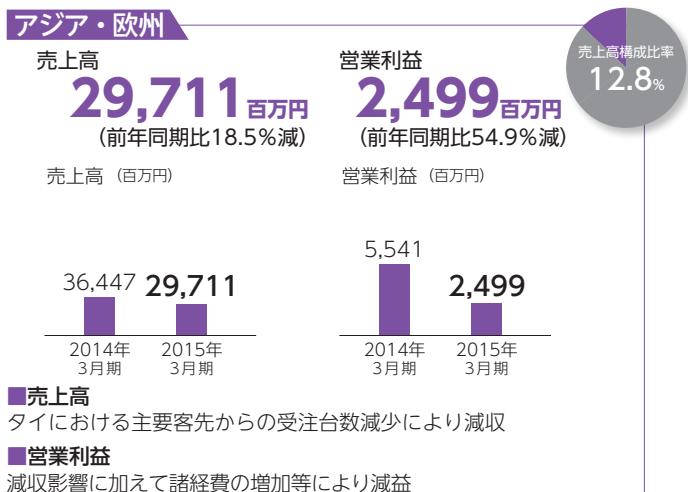
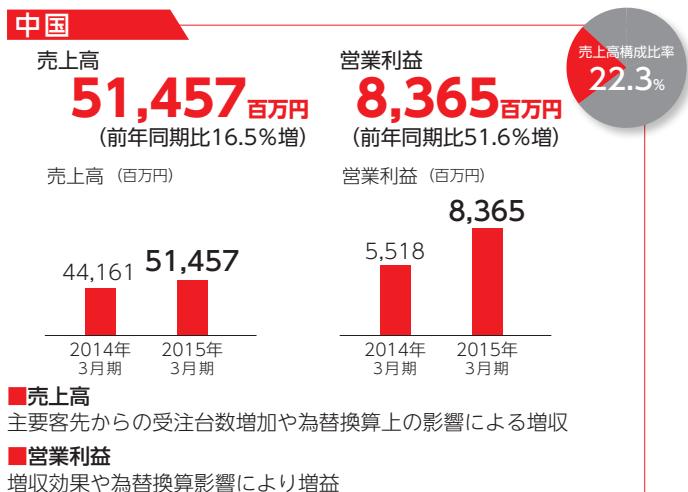
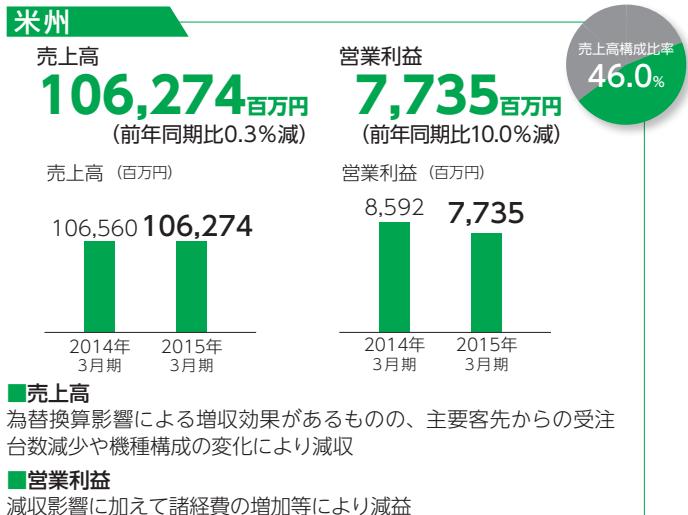
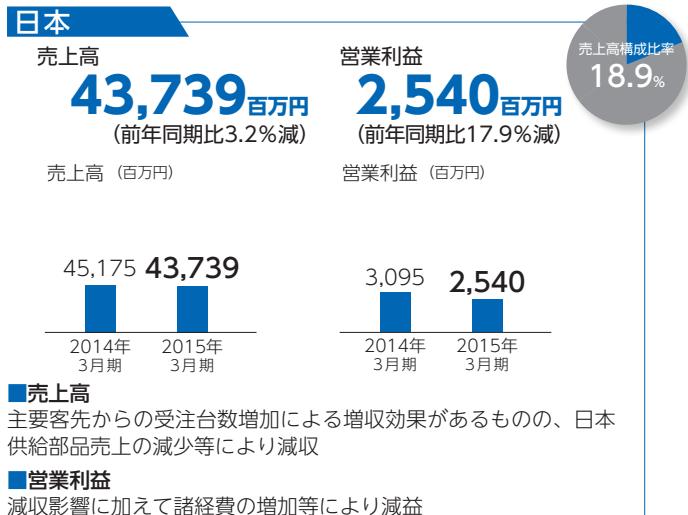


四半期(当期)純利益 (百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期見通し

1株当たり当期純利益 (円) ● 通期 ○ 通期見通し



## セグメント別業績データ（第2四半期連結累計期間）



セグメント別業績データは連結消去前のデータで算出しています。

日本以外の区分に属する国又は地域は米州=アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル、中国=中国・香港、アジア・欧州=タイ・フィリピン・インド・インドネシア・イギリスとなっています。

四半期連結貸借対照表

(百万円)

科 目	前期	当第2四半期
	2014年3月31日現在	2014年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	177,394	170,679
現金及び預金	78,181	78,712
受取手形及び売掛金	65,530	56,957
商品及び製品	2,609	2,566
仕掛品	3,325	3,910
原材料及び貯蔵品	19,681	17,940
その他	8,106	10,607
貸倒引当金	△40	△16
固定資産	87,240	95,162
有形固定資産	62,253	67,246
無形固定資産	1,546	2,836
投資その他の資産	23,441	25,079
<b>資産合計</b>	<b>264,635</b>	<b>265,841</b>

科 目	前期	当第2四半期
	2014年3月31日現在	2014年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	84,772	72,696
支払手形及び買掛金	56,932	49,887
短期借入金	1,869	1,744
1年内返済予定の長期借入金	167	81
未払法人税等	3,049	1,924
賞与引当金	3,053	2,904
役員賞与引当金	151	75
その他	19,548	16,078
固定負債	9,148	11,308
長期借入金	69	27
引当金	60	—
その他	9,018	11,281
<b>負債合計</b>	<b>93,920</b>	<b>84,005</b>

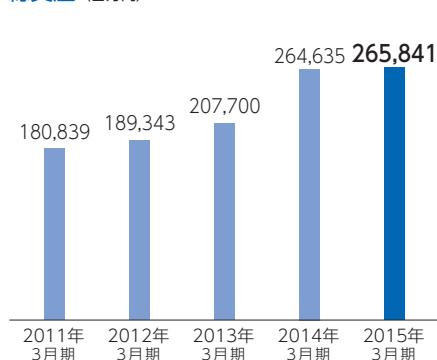
純資産の部		
株主資本	143,718	153,414
資本金	4,700	4,700
資本剰余金	5,163	5,163
利益剰余金	133,858	143,555
自己株式	△3	△3
その他の包括利益累計額	7,886	9,736
少数株主持分	19,110	18,685
<b>純資産合計</b>	<b>170,714</b>	<b>181,836</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>264,635</b>	<b>265,841</b>

**1 資産合計**  
設備投資に伴う有形固定資産の増加や投資有価証券の評価替え等により、0.5%の増加となりました。

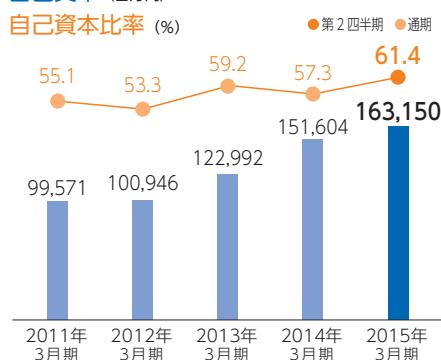
**2 負債合計**  
支払手形及び買掛金が減少したほか、未払法人税等の減少により10.6%の減少となりました。

**3 純資産合計**  
利益剰余金が増加したことにより6.5%の増加となりました。

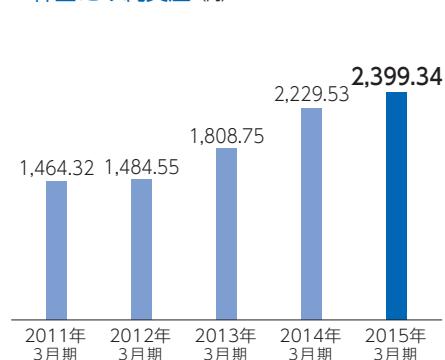
総資産 (百万円)



自己資本 (百万円)



1株当たり純資産 (円)

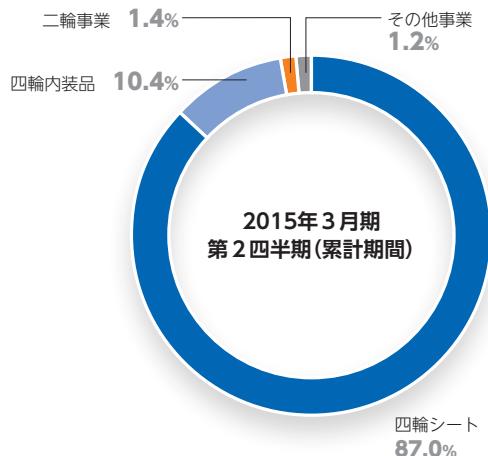


## 四半期連結損益計算書

(百万円)

科 目	前第2四半期累計 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期累計 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	216,037	216,133
売上原価	181,084	182,225
売上総利益	34,953	33,908
販売費及び一般管理費	14,467	16,340
営業利益	20,485	17,567
営業外収益	1,436	2,237
営業外費用	112	86
経常利益	21,809	19,718
特別利益	75	65
特別損失	274	166
税金等調整前四半期純利益	21,609	19,617
法人税等合計	5,969	5,277
少数株主損益調整前四半期純利益	15,639	14,339
少数株主利益	2,901	2,987
四半期純利益	12,738	11,351

### 事業別売上高構成比



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	前第2四半期累計 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当第2四半期累計 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,534	16,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,858	△8,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,075	△6,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,033	△569
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,632	696
現金及び現金同等物の期首残高	53,348	76,460
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	153
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,981	77,309

### 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が増加したことや、「税金等調整前四半期純利益」が減少したこと等により、得られた資金は27.4%の減少となりました。

4

5

### 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

「有形固定資産の取得による支出」や「関係会社出資金の取得による支出」等が減少したこと等により、支出した資金は36.1%の減少となりました。

## 会社概要 (2014年9月30日現在)

**商号** テイ・エス テック株式会社  
**設立** 1960年12月5日  
**資本金** 4,700百万円  
**事業の内容** 四輪車用シート、四輪車用内装品、二輪車用シート、二輪車用樹脂部品等の製造販売  
**従業員数** 1,732名  
**主な取引先** 本田技研工業株式会社、株式会社本田技術研究所、株式会社ホンダトレーディング、株式会社ホンダアクセス、スズキ株式会社、ヤマハ発動機株式会社、川崎重工業株式会社、パラマウントベッド株式会社

## TSグループ 主要な子会社・関連会社

### 日本

- 九州テイ・エス株式会社
- サン化学工業株式会社
- 株式会社テイ・エス ロジスティクス
- 株式会社テック東栄
- 総和産業株式会社

### 米州

#### アメリカ

- TRI-CON INDUSTRIES, LTD.
- TS TRIM INDUSTRIES INC.
- TS TECH USA CORPORATION
- TS TECH AMERICAS, INC.
- TS TECH ALABAMA, LLC.
- TRIMOLD LLC
- TS TECH INDIANA, LLC
- TST NA TRIM, LLC.

#### カナダ

- TS TECH CANADA INC.
- TRIMONT MFG. INC.

#### メキシコ

- INDUSTRIAS TRI-CON DE MEXICO, S.A. DE C.V.
- TST MANUFACTURING DE MEXICO, S. DE R.L. DE C.V.
- NA SERVICE, S. DE R.L. DE C.V.

## 役員 (2014年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	井上 満夫	常務取締役	保田 眞成
取締役副社長 (代表取締役)	石井 豊英	取締役	中島 義隆
専務取締役 (代表取締役)	斉藤 和久	取締役	吉田 均
専務取締役	荒井 拓雄	取締役	新井 裕
専務取締役	足田 一彦	常勤監査役	鷓澤 雅夫
専務取締役	和田 達夫	常勤監査役	根本 昭
常務取締役	由井 好明	監査役	花村 武志
常務取締役	前田 稔	監査役	元田 達弥

監査役の花村武志と元田達弥は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。また、両名は株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定しています。

### ブラジル

- TS TECH DO BRASIL LTDA.
- TS TRIM BRASIL S/A

### 中国

- 広州提愛思汽車内飾系統有限公司
- 広州徳愛康紡績内飾製品有限公司
- 寧波保稅区提愛思泉盟汽車内飾有限公司
- 寧波出口加工区提愛思泉盟汽車内飾有限公司
- 武漢提愛思全興汽車零部件有限公司
- TS TECH (HONG KONG) CO.,LTD.
- 広州提愛思泰汽車内飾科技有限公司
- 広州広愛興汽車零部件有限公司

### アジア・欧州

#### アジア

- TS TECH TRIM PHILIPPINES, INC.
- PT. TS TECH INDONESIA
- TS TECH (THAILAND) CO.,LTD.
- TS TECH ASIAN CO.,LTD.
- TS TECH (KABINBURI) CO.,LTD.
- TS TECH SUN INDIA PRIVATE LIMITED
- TS TECH SUN RAJASTHAN PRIVATE LIMITED
- TS TECH (MANDAL) PRIVATE LIMITED

#### 欧州

- TS TECH UK LTD
- TS TECH DEUTSCHLAND GmbH
- TS TECH HUNGARY Kft.

株式情報 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	272,000,000株
発行済株式総数	68,000,000株
株主数	8,218名

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
本田技研工業株式会社	15,360	22.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,131	4.6
三井住友海上火災保険株式会社	2,451	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友 銀行退職給付信託口)	2,199	3.2
住友生命保険相互会社	1,940	2.9
株式会社埼玉りそな銀行	1,720	2.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,564	2.3
株式会社ブリヂストン	1,536	2.3
太陽生命保険株式会社	1,400	2.1
三菱 UFJ 信託銀行株式会社	1,360	2.0

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 100株

基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日  
 期末配当 毎年3月31日  
 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 および特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事  
 由によって電子公告による公告をすることができな  
 い場合には、日本経済新聞に掲載して行います。  
 公告掲載URL (<http://www.tstech.co.jp>)

当社のホームページが新しくなりました。

<http://www.tstech.co.jp>



新しいホームページでは、皆様により早く、より分かりやすく当社を知っていただくためのコーナー「5分でわかる! ティ・エス テック」など、コンテンツ(内容)を充実させております。また、パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末などからも見やすくなっておりますので、是非ご覧ください。



# Global Network

グローバルネットワーク

## 中国編

広州提愛思泰汽車内飾科技有限公司



広州提愛思泰汽車内飾科技有限公司



事務所が入るビルエントランス



社員インタビュー

李 玉蘭

入社：1年目

(広州提愛思泰汽車内飾系統有限公司で10年間勤務の後、入社)

所属：開発技術部 開発担当

世界最大の自動車市場と言われる中国。多くの自動車メーカーがひしめきあう中国市場において、現地のニーズにすばやく対応できる体制を整えるため、2013年8月に広東省 広州市に開発を手がける新会社を設立しました。今後も成長が期待される中国市場においても、TSグループは更なる成長を目指していきます。

### 現地のニーズをすばやく反映

これまで、世界各地で生産される当社製品の多くは、日本を中心に開発を行ってきましたが、今般では自動車のデザインや機能などの仕様を、各地域ごとに合わせた製品造りが求められています。そこで当社は、現地のユーザーニーズをすばやく製品に反映できる研究開発体制の構築を進めてきました。

その一環として、開発を手がける新会社を中国に設置し、中国専用車などの開発を現地化したことで、ユーザーニーズを的確に吸い上げ、スピーディーで円滑な仕様提案を可能としています。

今後、開発の現地化をより一層強化し、競争力を向上させ、さらなる新規受注獲得を目指していきます。

### 会社情報

設立：2013年8月

資本金額：80万ドル出資 (TSHK100%)

総 経 理：星野嘉宏  
(Hoshino Yoshihiro)

住 所：広東省広州

社員人数：中国人スタッフ7名+TSHK 駐在員4名

業務内容：中国現地開発機種の開発推進



私は広州にある生産工場 (TSグループ) で10年間勤務した後、こちらの開発会社で働くことになりました。まだ入社して9ヶ月ですが、福利厚生が充実していることや、同僚や上司ともコミュニケーションが十分に図れており信頼関係が築けていることが良いと感じています。

現在の業務は新機種開発での試作品対応及びテスト段取り等を行っています。

今後は材料開発に関する知識の向上や開発フローの経験を積み、中国専用開発機種 of 更なる受注獲得を目指して頑張っていきたいと思ひます。

**T-Tech** ティ・エス・テック株式会社

本社 埼玉県朝霞市米町3丁目7番27号 〒351-0012  
TEL 048-462-1121 FAX 048-465-0403



UD FONT

